

## 開催報告書

### サツポロ未来展とは

サツポロ未来展はこれまで北海道から発信する若手美術家のグループ展として14年間活動を続けてきました。

北海道にとってサハリンは広いロシアの国の中でも、最も地理的に北海道と近く、歴史的背景から見てもゆかりのある地域です。サツポロ未来展の開催地として展覧会を通じて文化交流を実現させ、ユジノサハリンスクの市民に「サツポロ未来展」を広く紹介する事により、両国にとっての刺激になると確信していました。その実現の為に現地の日本国総領事館やサハリン州政府にも協力を依頼し、現地視察、美術学校施設訪問など意見交換を含め多くの準備をしてまいりました。

そして、今展は日露青年交流センター（日本の外務省）とサハリン州政府の共催事業として開催する運びとなりました。これまでサハリンと北海道で大々的に若手の作家同士の美術の展覧会交流をしているケースがなく、かつ継続的に関わる企画を立ち上げた団体はありませんでした。

今展の活動のもう一つの目的は、単独展示にとどまらず2016年に札幌でサツポロ未来展とサハリンの美術家との共同展示を計画し、若手美術家同士の相互交流を企画すると共に継続的な交流を図るという、大きな「ねらい」があります。

訪問期間：2015年5月27日（水）～6月3日（水）

訪問団員：11名

高橋伸（企画プロデューサー、団長）、宮地明人（事務局長）

谷地元麗子（渉外担当）、藤井康子、高橋宏奈、鎌田歩

魅嚙 MIKA、小野寺彩子、桑田真望、森田早紀、柴田那奈

【目次】 ※日程表別紙参照 |第 14 回サツポロ未来展 in Sakhalin 派遣プログラム|

1. 開催報告書冒頭、サツポロ未来展とは、訪問期間、訪問団員
2. 目次、サツポロ未来展概要、目的
3. 5月27日(水) 北海道サハリン事務所訪問、全体打ち合わせ  
28日(木) 美術館について、展示作業
4. 5月28日(木) サハリン州政府文化省表敬訪問、サハリン州立芸術カレッジ訪問  
在ユジノサハリンスク日本国総領事館表敬訪問
5. 5月29日(金) 総領事公邸での昼食会、開会式、サハリン州政府主催夕食会
6. 5月30日(土) オホーツク村への野外写生、サハリン在住の美術家と交流
7. 5月31日(日) 郷土博物館見学、絵馬ワークショップ、チェーホフ劇場観劇
8. 6月1日(月) ユジノサハリンスク市立子ども芸術学校訪問、卒業制作展見学  
チェーホフ文学館見学、サツポロ未来展主催夕食会
9. 6月2日(火) コルサコフ市立子ども芸術学校訪問、市内散策  
3日(水) サハリン州政府文化省訪問、帰国
10. 総評(成果と課題)、報道記事一覧

【第 14 回 サツポロ未来展 in Sakhalin 概要】

会 期：2015年5月30日(土)～6月15日(月)

会 場：サハリン州立美術館

作品分野：日本画・油絵・版画・ほか

出品者数：21名

展示規模：50点(50号からF130号程度の大作を基準とした平面作品)

主 催：サツポロ未来展実行委員会

共 催：札幌時計台ギャラリー/日露青年交流センター

協 力：札幌武蔵野美術学院/在ユジノサハリンスク日本国総領事館/サハリン州立美術館

後 援：北海道/北海道新聞社

助 成：公益財団法人 花王 芸術・科学財団

【目 的】

2013年は初の海外展を開催したが(ロシア、ノボシビルスク)姉妹都市間の交流からさらにその活動を発展させ「サツポロ未来展」を広く海外に紹介したいと考えます。

サツポロ未来展は、今後も道民のみならず日本を超えて世界で活躍する若手美術家の存在を伝え、展示会の役割を担っていく事が最大の目的です。それと同時に、北海道ゆかりの新たな若手美術家の発掘、教育を兼ねて新たな歴史を作っていきたいと考えます。特に国際的な活動をするにあたっては、創り手と受け手を社会的に結びつけるだけでなく、国家間の美術文化の架け橋として存在出来るような活動を残したいと望んでいます。

北海道の若手美術家の顔として認知され、それに相応しい展示を行う事によって、良き出会いが生まれ、今後の活動の継続を促し、次世代の育成に繋がると考えます。サツポロ未来展という「活動」を通して、それぞれがさらなる成長と発展の為の糧となる様にとめます。

5月27日（水）

### 【北海道サハリン事務所訪問】全体打ち合わせ

まず、今展の事業に於いて窓口としてご尽力いただいた道庁サハリン事務所に訪問しました。

日程詳細をサッポロ未来展訪問団と道庁サハリン事務所、サハリン州政府、州立美術館、文化局のそれぞれの担当職員と全員で打ち合わせし、1週間の滞在の目的とスケジュールを確認しました。受け入れ先の美術館とのこれまでのやり取りの中で、本当に多くの関係者にご協力頂きましたが、全員集って会議をしたのは初めてでした。

北海道サハリン事務所所長 長谷川浩幸氏、主査 高橋誠氏、主査 高橋澄大氏、事務所職員、州政府クトヴォイ氏、ピクトリア・ワシレフスカヤ氏、その他、美術館館長ブリカ氏、副館長マリコワ氏、文化局職員チェレパノワ氏など



5月28日（木）展示作業日

### 【サハリン州立美術館について】

ユジノサハリンスク市内に残る日本統治時代の建造物のひとつで、1931年に北海道拓殖銀行として設立されました。その後、第二次世界大戦後にソ連の管理になってからは歴史的に保存する為、復元され1988年に美術館として引継がれました。復元には現地の市民や美術家たち、日本人技術者が貢献したと聞きます。

1989年に最初の常設展が開設され、現在はフレスコやイコンなどの古代ロシア美術から20世紀後半の現代ロシア美術、民族美術工芸品など14000点を収蔵しています。ロシアでは最も新しい美術館の一つであり、その活動歴からはまだ日本との芸術交流は少なく、今展の「サッポロ未来展」は大規模な交流事業として初めての開催です。



左上から、美術館外観  
館長アレクサンドル・ブリカ氏、副館長イリーナ・マリコワ氏  
職員ナタリア氏、ステパン氏、アレクサンドル氏

### 展示作業風景



5月28日（木）

### 【サハリン州政府文化省表敬訪問】

今展のプロジェクトに於ける最も中心的な協力・運営面での関係当局の一つであるサハリン州政府文化省を、リッポロ未来展メンバーが訪問致しました。

「大成功させる為の出来る限りの協力をおしませぬ。」との力強い励ましのお言葉を頂き一同心強く思いました。

### 【在ユジノサハリンスク日本国総領事館表敬訪問】

今展の事業の協力者のひとつである在ユジノサハリンスク日本国総領事館に表敬訪問致しました。

今村朗総領事をはじめとして、ご対応頂き「この地で作られている天然ガスの約10%は北海道に輸出されているように経済交流は以前よりあるが、芸術交流は非常に少ない。これからまだまだ発展途中にある町なので継続的な文化交流をして欲しい。」とのお言葉を頂き、励みになりました。

左から  
道庁サハリン事務所 高橋誠氏、所長長谷川浩幸氏  
谷地元麗子、宮地明人、高橋 伸、総領事今村朗氏  
藤井康子、州政府ワシレフスカヤ氏



### 【サハリン州立芸術カレッジ訪問】

設 立：1959年（今年は設立55周年にあたる）

分 野：楽器、歌、演劇、ダンス、映画製作、環境デザインなど  
画家は育成しておらず環境デザインがメイン。

生 徒 数：250名（通信教育が60名）

プログラム：18才以上の義務教育を修了した者を対象に14の専攻別プログラムがあり専門教育を行う。デザイン科が人気で1学年で50人の希望者がいる。

在 籍 年 数：3～4年

進 学 先：ノボシビルスク建築大学やウラジオストック等の大学へ進学。

就 職 先：子ども芸術学校教師、カレッジの教師、デザイナーなど。

講 師 数：約90名（教員の数名はロシア美術家連盟会員の画家がいる）

※オルガ副校長、ドロエオバ先生、ジョー先生（デザイン学部長）にご対応頂き各教室のアトリエの他、学生寮も見学させてました。



### 展示作業終了 会場風景



5月29日(金)

【総領事公邸での昼食会】

今村総領事の他、足立憲泰領事、服部祐典副領事、鳥居航副領事にご対応頂きました。



高橋伸の作品が総領事館に收藏されました。油彩作品「大通公園」F50



【開会式】



ご来賓一同写真右から

- 在ユジノサハリンスク日本国総領事今村朗氏（ご挨拶場面）
- 司会通訳：州政府ピクトリア・ワシレフスカヤ氏
- ロシア外務省駐在員事務所代表ウラジミール・ソノフ氏が参列



- トルトネワ副首相から激励のご挨拶を頂き、絵馬にメッセージを書いて紹介して下さいました。メッセージ：「友好は笑顔から始まる」（日本語訳）



- 北海道知事高橋はるみ氏のメッセージを道庁サハリン事務所長谷川所長が代読。
- 団長、企画プロデューサー高橋伸が挨拶。
- 収蔵作品紹介。（作者本人より作品解説）  
画家高橋伸の作品がサハリン州立美術館に収蔵されました。プリカ館長が大きく一礼。「これまで北海道の作者で北海道を描いた作品は所蔵されていません。今後は沢山の場面で公開し、使用させていただきます。」  
左：SAPPORO (F50)  
右：樽前山 (F100)

サッポロ未来展メンバーや厚別高校 44 名の生徒、そして札幌武蔵野美術学院の学生達より市民の皆様へ「絵馬」のプレゼントを致しました。その中には北海道知事高橋はるみ氏のメッセージもあります。日本文化紹介として企画したワークショップ講師をつとめる谷地元麗子よりこれらを紹介し、ご挨拶に代えさせて頂きました。そして、マリコワ副館長の謝辞で開会式はお開きとなりました。その後、サンタリゾートホテルにて州政府主催の夕食会に招かれました。



写真左から

- 中央：北海道知事高橋はるみ氏の絵馬メッセージ「文化の絆」

左側：副首相トルトネワ氏絵馬  
右側：北海道副知事山谷氏絵馬

- 厚別高校の生徒の作品メッセージ：「大好きサハリン！」
- 飾られた絵馬は 100 枚以上
- 各メディアのインタビューを受ける未来展メンバー



5月30日(土)

## 【オホーツク村への野外写生】

ユジノサハリンスク市から車で約40分程度の場所にあるサハリン最大の湖、トゥナイチャ湖周辺で油絵を描きました。オホーツク村というように、網走の風景に似ています。

また、サハリンの美術家5名が参加し美術交流ができました。サツポロ未来展のメンバーの中に美術教員が複数いるようにサハリンの美術家にも教員が多いです。写生は約15時から18時までの計3時間にわたって行われ、慣れない画材に戸惑いながらも一生懸命描いた事は思い出になりました。



パープージ先生  
(州立芸術カレッジ)



ジョー先生  
(州立芸術カレッジ)



ナデージダ先生  
(ユジノ市子ども芸術学校)



アレキサンドラ氏  
(現代美術家)



学生パリーナ氏 (ユジノ市子ども芸術学校在学)

写生風景、交流風景



コテージ |オホトモリエ|

5月31日(日)

【郷土博物館見学】

サハリン州が運営している博物館でサハリンの動植物、民族学、考古学、近現代の歴史資料等が展示されています。美術館同様日本統治時代の建造物のひとつで旧樺太庁博物館(1937年開館)にあたります。城郭屋根や入口の狛犬が特徴的でユジノサハリンスク市内で最も日本を感じさせる外観をしています。日本統治時代の資料もいくつか公開されており、北緯50度線の国境標石も確認出来ました。サハリンと北海道の関係をより深く知る事ができ見聞を広められました。



【絵馬ワークショップ】

■タイムテーブル

- 14:00 開始 説明～「絵馬」とは?
- 14:10 日本画の絵具 絵具説明 絵具作り実演
- 14:25 絵具作り(水干) つぶす 膠を加える 練る(水を足す)
- 14:35 制作開始
- 14:50 仕上げ説明 砂子
- 15:00 制作続き
- 15:20 完成 片付け
- 15:30 記念撮影 終了

■展示絵馬



■配布用レジュメ(ロシア語)

№2. 14.05.2015 года в Музейно-галереином комплексе города Южно-Сахалинска состоится мероприятие «СДЕЛАЕМ ДОЩЕЧКУ «ЭМА» С ПОМОЩЬЮ ТРАДИЦИОННОЙ ЯПОНСКОЙ ЖИВОПИСИ «НИХОНГА»

— Что такое досщечка «эма»? Досщечка «эма», которую принято вешать в Японии в качестве молитвы, представляет собой небольшую доску из дерева, на которой нанесены рисунки и вырезаны от руки японские иероглифы. Досщечки «эма» являются традиционным элементом японской культуры и используются для выражения молитвы и благодарности. В нашей галерее вы сможете увидеть и приобрести досщечки «эма» с традиционными японскими рисунками и иероглифами. Также вы сможете увидеть и приобрести досщечки «эма» с традиционными японскими рисунками и иероглифами.

■ НАСТОЯЩИЙ МАСТЕР-КЛАСС

- 14:00 Подготовка материалов. Подготовка доски «эма».
- 14:10 Изготовление традиционной японской живописи «нихонга».
- 14:25 Подготовка материалов. Подготовка доски «эма».
- 14:35 Подготовка материалов. Подготовка доски «эма».
- 14:45 Подготовка материалов. Подготовка доски «эма».
- 14:55 Подготовка материалов. Подготовка доски «эма».
- 15:05 Подготовка материалов. Подготовка доски «эма».
- 15:15 Подготовка материалов. Подготовка доски «эма».
- 15:25 Подготовка материалов. Подготовка доски «эма».
- 15:35 Подготовка материалов. Подготовка доски «эма».

■ワークショップ風景



■坂本英子作の絵馬と少女が記念撮影  
 日時: 5月31日(日) 14:00~  
 場所: サハリン州立美術館  
 内容: 日本画で絵馬を作ろう  
 参加者: 28名



■日本文化紹介として「日本画の画材」で絵馬を描くイベントを企画し市民に体験して頂きました。

【チエーホフ劇場】観劇

演目: 遺産相続  
 時間: 19:00~21:30  
 ホール: 座席5列の100名弱定員



役者との距離が近く臨場感があり言葉は分からなくてもシリアスな内容に引き込まれていきます。

Сахалинский Международный театральный центр им. А.П.Чайковского приглашает Вас на спектакль «Наследство»

31 мая начало в 19.00 часов

места в зрительном зале — место для Вас

После спектакля Вам предстоит по телефону (8242) 75378.



招待券と入場チケット

6月1日(月)

## 【ユジノサハリンスク市立子ども芸術学校訪問】

ロシアの教育は通常、義務教育の学校と【付加教育】の学校とを《ダブルスクール》しています。

この学校は市立ですが、多くは国立か州立運営で学費は無料。未受験で希望者を受け入れている場合が多く、国からの命令によって決められた教育内容を実施しています。ロシア全土では現在12%以上の子どもが付加教育を受けていますが、教育発展概要での目標は、2020年までに75%にするとの事です。

設立：ユジノサハリンスク市では最も古く120年前はアカデミーに進学させる為のアカデミー附属の学校でした。

分野：絵画、彫刻、美術史教育、才能の早期開発等の追加的教育

生徒数：509名は無料。(18才以上が有料で通う)

①総合発展プログラム：6才半～11才、4年過程でドローイング(デッサン)、彫刻(造形)、コンポジション(構成)、美術史を中心に学び、道具の使い方を経験して表現したい物を作るよう力をつけさせる事を目標にしています。

②専門基礎プログラム：12才～、5年過程と8年過程があり、基礎科目の内容の他、着彩、図法などグラフィックや絵画表現他、専攻別のアカデミックな過程に進みます。

在籍年数：現在は8年+5年 最短で4年。長くて8年程度(入学年齢によって異なる)

進学先：進学率約36%で大学やロンドン、釜山、ソウル、サンクトペテルブルクなどの短期大学やアカデミーに進学。

講師数：13名(8名が大学卒、5名は学歴は無いがプロの方)



コジマコ校長→  
←アトリエ風景



## 【子ども芸術学校卒業制作展 ロシア美術家連盟ホール】

学校見学後、この学校の卒業制作展を見学させて頂きました。展示されている多くは子ども達のインスピレーションが重視された自由で伸び伸びとした表現の作品が多くありました。



## 【チエーホフ文学館見学】

チエーホフがサハリンにわずか3ヶ月滞りて書き上げた「サハリン島」を元に、サハリンの歴史を紹介する常設展があり、2階は地元の画家や美術企画が可能な展示室になっています。



## 【サツポロ未来展主催夕食会】



州立美術館館長より、団長高橋伸は企画や作品收藏に対して表彰を受けました。宮地明人は、作品及び事務局長としての功労に対して、谷地元麗子は作品及び絵馬を中心とする日本文化紹介に対する貢献として、藤井康子は、作品及び日露間に於ける美術教育の相互協力の推進に対して、メンバーより3名が「サハリン州立美術館 館長賞」を授与されました。



6月2日（火）

## 【コルサコフ市立子ども芸術学校訪問】

この学校では6才半～17才までの子ども達が美術表現の基礎を学んでいます。ペインティング、コンポジション、彫刻、野外写生、美術文化史と内容は幅広く、ユジノサハリンスク市立子ども芸術学校と同様に、ロシアの教育法に則ったり年齢に応じた課題をこなしています。校内写生の授業を見学し、子どもの作品例として水彩で描かれた静物画や風景画、石膏像の鉛筆デッサンを見せて頂き、技術レベルの高さに驚きました。特に、野外写生は夏に2週間程度合宿を行い、他校合同の写生作品展も開催されると聞きました。



マリナ校長



コルサコフ出身のアーニャさんのガイドでコルサコフ市内を散策



6月3日（水）

## 【サハリン州政府文化省訪問】

サハリン州政府文化省より、渡航メンバー11名に「文化大臣奨励賞」が授与されました。



無事帰国（新千歳空港）

## 【総 評】（成果と課題）

- ① サハリン州立美術館はロシアで最も新しく開館した美術館のひとつです。1931年に元拓殖銀行として設立された後、1988年に復元され美術館として引継がれましたが、これまで日本との美術交流はほとんどありませんでした。今回「第14回サッポロ未来展 in Sakhalin」は州立美術館で開催しましたが、日本の美術家が大規模な展示を行う事は、州立美術館にとって初めての展示交流事業であり、ユジノサハリンスクの市民に非常に高い関心が寄せられました。
- ② 来年の事業について具体的な承認と確約ができ、事業の作業スケジュールの確認が取れました。2016年の8月に2週間、北海道庁赤れんが庁舎（国指定重要文化財）と札幌時計台ギャラリーでサッポロ未来展出品者とサハリン在住の同世代美術家（ロシア美術家連盟会員を含む40才未満の美術家）の合同展示会、及び交流を行います。
- ③ サハリン州政府と連携し、現地の美術教育関連施設3校と交流を図る事が出来ました。そのうち、サハリン州立芸術カレッジと札幌武蔵野美術学院との学校提携についての確約が取れました。
- ④ 開会式では式典に参列するご来賓一同のほか、多数の来場者と報道関係者が来られました。
- ⑤ 「絵馬」制作によるワークショップを開催し、日本の文化紹介として「日本画体験」を企画した事により日本画への関心が寄せられました。美術を学ぶ学生から一般市民まで幅広い年代層の市民に参加して頂き、交流を図る事が出来ました。
- ⑥ サハリン州立美術館と在ユジノサハリンスク日本国総領事館に画家、高橋伸の作品が収蔵されました。
- ⑦ サハリン州立美術館より団長、高橋伸が表彰され、宮地明人、谷地元麿子、藤井康子の3名が作品及びそれぞれの貢献につき「サハリン州立美術館 館長賞」を与えられました。
- ⑧ サハリン州政府文化省より、訪問団員11名に「文化大臣奨励賞」が与えられました。
- ⑨ 展覧会を開催する事で、サハリンの地域社会と市民の文化レベル向上へのさらなる貢献と、人的交流の活性化に繋がる事を期待したいです。サハリン州政府文化省を〈後援〉又は〈協力〉に入れるべきというアドバイスも頂きました。  
今後の運営面では協賛などといった、資金面での支援を頂く事も大きな課題になると思います。
- ⑩ 来場者合計 1852名（内訳：解説ツアー 33回 687名、単一の来場者が 1077名）となった。

## 【報道記事】別紙にて添付

北海道新聞（3月26日）  
北海道新聞（5月30日）  
東奥日報（6月7日）  
北海道新聞（6月29日）

@モスクワ・コムソモーレツ新聞（5月31日）  
<http://www.mk-sakhalin.ru/articles/2015/05/31/sakhalinskiy-khudozhestvennyy-muzey-znakomit-s-novym-pokoleniem-khudozhnikov-khokkaydo.html>

@「ソヴェーツキー・サハリン」新聞（6月1日）  
<http://sovsakh.ru/ru/news/23552.html>

@「我らの島」新聞（5月27日）  
<http://www.tia-ostrova.ru/?div=news&id=317329>

OTB @グベルンスキエ報知 サハリン・クリル（6月1日）  
<http://skr.su/news/248308>

@国营サハリン放送（5月29日）  
[http://www.gtrk.ru/index.php?id=3&no\\_cache=1&tx\\_ttnews\[year\]=2015&tx\\_ttnews\[month\]=05&tx\\_ttnews\[day\]=29&tx\\_ttnews\[tt\\_news\]=8500&cHash=f43e68e6871c9facbd7f7f6ddf723b89](http://www.gtrk.ru/index.php?id=3&no_cache=1&tx_ttnews[year]=2015&tx_ttnews[month]=05&tx_ttnews[day]=29&tx_ttnews[tt_news]=8500&cHash=f43e68e6871c9facbd7f7f6ddf723b89)

@サハリンメディア（5月30日）  
<http://sakhlinmedia.ru/news/society/30.05.2015/440866/molodie-hudozhniki-hokkaydo-predstavili-iskusstvo-buduschego-v-yuzhno-sah.html>

@スタディ イン ジャパンガイド（6月1日）  
<http://study-in-japan-guide.com/ru/news/sapporo-mirai-sakhalin-2015/>